

【図書名等】 厚生労働省指針に対応した労働安全衛生マネジメントシステム
 リスクアセスメント担当者の実務
 コード No.23163 第7版 定価 1,540 円（本体 1,400 円＋税）
 （コード No. および定価は現行どおりです。）

【発行日】 令和2年4月10日

【改訂の概要】

改訂のあらまし	該当頁
<p>令和元年7月の労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針の改正に対応した解説を加えるほか、必要な字句の修正を行う等、内容の見直しを行った。 主な改訂箇所は以下のとおり。</p>	
第1部 総論	
第1章 労働安全衛生マネジメントシステムの概要	
・1.2「労働安全衛生マネジメントシステムの基本的考え方」において、労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針の改正について追加。	11
・1.3「労働安全衛生マネジメントシステムの特徴」において、労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針の改正について追加。	13
・2.6「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針の適用」において、第4条の記述および通達の内容を一部追加。解説の内容を差替え。	19、20
・3.1「労働安全衛生マネジメントシステムにおける危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定」において、第10条の記述および、通達の内容を一部追加。	21
・参考—1の「第28条の2」に③を追加。	22
・参考—2の「第24条の11」に「第34条の2の7」を追加するとともに、説明を追加。	24、25
第2部 リスクアセスメントの立上げ時の準備（導入）	
第3章 リスクアセスメントの実施体制	
・1「リスクアセスメント導入のための準備」下から4行目「マネジメントシステム指針の第8条」を「マネジメントシステム指針の第10条」に変更。	43
第4章 リスクの見積り・優先度の設定の方法	
・2.2「数値を用いるリスクの見積り・優先度の設定方法」において、表3の「軽傷」の事例から、「やけど」を削除。	56
・表6を差替えるとともに、説明を追加。	59
・表7②を差替え。	61
・表8②を差替え。	63
第5章 リスクアセスメント実施手順の作成と見直し	
・別表1の「火災」について内容を記述。	75
第3部 リスクアセスメントの実施時の準備から職場の改善まで（運用）	
第7章 リスクアセスメントの実施（運用）	
・1.2「ハザードの探し方」において図14②の「引き込み又は捕捉」の「開く扉と戸袋」のイラストを差替え。	86
・1.4「ハザードの特定での留意点」において、「ハザードの特定のためのガイドワード(例)」の「16. 火災」の内容を記述。	93
・3.2「リスク低減措置の検討の優位順位」において、「ア 本質的対策」の二つ目の項目の「段差」を削除。	99
・図20中の文字「危険源」を「ハザード」に変更。	100

<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.5 「リスク低減措置の検討と実施の留意点」において、「〈リスク低減効果の予測の考え方(例)〉」の本文を一部修正。 	104
第9章 リスクの管理	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.3 「暫定対策の管理」の内容を修正。 	113
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 「リスクの管理に当たって」において「〈残留リスクの考え方〉」の内容を一部追加。 	115
第10章 リスクアセスメント運用時の留意事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 「リスクアセスメントの歴史」において、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」の改正について追加。 	122、123
付録	
付録1 労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年7月の改正内容にあわせ全面的に修正。 	127～ 136